

# 品川支部

平成29年6月1日発行  
〒141-0022  
品川区東五反田1-8-5  
TEL 3442-7075

## 6月

天理教品川支部 (豊英分教会内) 発行責任者 栗原薫 編集 支部編集部

## 全国一斉ひのきしんデイご参加の方、有難うございました

四月二十九日全国一斉ひのきしんが行われました。品川支部では大井のなぎさ公園で百三十六名の参加して頂きまして、ピクニック気分の昼食を挟み公園内の清掃、草取り等すっかり綺麗にして頂きました。公園管理の方たちも大変喜んで下さいました。最後は恒例の、はずれなしお値打ち大抽選大会で大いに楽しんでの一日でした。

また来年宜しくお願い致します。



ビンゴ~!

- ・支部幹事会  
六月九日(金)午後五時〜豊英にて  
(この日は各教会の事務指導が日本橋大教会にて行われますので、時間を五時に繰り上げ豊英分教会で行います)
- ・教区ひのきしん(六月五日(月))  
当番は本大崎組です宜しくお願いします
- ・神名流し  
六月一日(木)午前十時〜  
場所 大井西口ロータリー
- ・在宅センターひのきしん  
六月二十八日(水)午前十時〜
- ・支部例会  
六月は本品川です(詳細は二頁参照)
- ・基礎講座  
六月十一日(日)午後一時半から  
先月の講座には品川支部担当のところ多数の参加有難うございました
- ・参議院で天理教災救隊が話題  
四月二十一日、参議院の災害復興委員会で質疑で天理教災救隊の百二十年に渡る活躍を評価して、国の災害対策に組み入れようとの話がありました、ネットで「参議院災害 天理教」で検索してみてください。

### ☆教務支庁からのお知らせ

### ☆支部行事のお知らせ

### 全国一斉ひのきしんデイ

ご参加有難うございました

四月二十九日、全国で一斉にひのきしんが行われました。  
品川支部は正式名、大井ふ頭中央海浜公園なぎさの森が会場で、九時半集合で多くの家族連れの方に参加頂きました。  
一時五十分からの大抽選大会では、支部の用意した商品に加え、各教会から魅力的な賞品を沢山にお出し頂き最後に大いに楽しんで一時半には散会となりました。  
また、総会等でも皆様と楽しく交流出来る場を企画いたしますので支部活動に参加の程宜しく願致します



楽しくお昼休み

### 婦人会だより

教区では年二回程度、女鳴り物の講習会を行っています。どなたでも参加できます  
今月は二十九日(木)十時から三時  
琴の爪、昼食持参の事

拠点教会	4日号	11日号	18日号	25日号
日本橋	手配り	手配り	手配り	直送
本 荏	手配り	手配り	手配り	手配り
都 南	手配り	手配り	手配り	直送
三ツ木	手配り	手配り	手配り	直送
水豊田	手配り	手配り	手配り	手配り

時報手配り六月予定

# 品川支部例会

## 平成29年6月30日 (金) 11時開始

### 場所 本品川分教会

(品川区大崎四丁目2-47)

### 内容 座りづとめ よろづよ八首 六下目

### 東京教区、支部連絡事項 当該寺田教会長挨拶

### 昼食の用意頂いてます

### \*各教会の方のほかどなたでも (白足袋ハッピー着用)



## 教会紹介

### 成東分教会元へ日

(牛込―千葉―成東)



当成東分教会は、その名称の名の通り、千葉県の成東町(現千葉県山武市)に、明治三四年四月十二日、小川半左衛門を担任に成東出張所の設置の御許しを頂きました。

明治二十一年ごろ、牛込大教会初代古田栄五郎先生は熱心に、東大教会初代、上原佐助先生からの頼まれたお助けの御用で東奔西走されておられた。

その中に、芝で掛茶屋(※1)を営んでいた吉野欽二氏(芝分教会初代)のもとに、近隣にお道の話聞きはじめてる人や病人が沢山あるので、その丹精とおたすけに廻ってほしいとの頼まれ芝に運ばれていた。

当時千葉で薪炭問屋を営む高橋金次郎(千葉分教会初代)が度々商用の為船で芝浦の港へ荷をつけ、東京へおくりこんでいて、芝の旅籠へ泊ることが多く、

吉野氏の掛茶屋にも頻繁に通っている関係で、顔見知りとなっており、その高橋氏が胃病からきた極度の憂鬱症になり、長く休んでいた。

吉野氏から丹精のお手伝いをしていただいた御礼の代わりにと紹介状を渡され千葉の高橋氏のもとにおたすけに向いた。身上は即座に御守護頂き、高橋氏は入信した。

高橋の入信を契機に、近隣に助けを願う者が相次ぎ、牛込初代はしばしば夜道をかけて高橋宅まで往復し、おたすけに当たられた。

おたすけを願う者の中に、成東の町に居住していた高橋氏の親戚、安中某(写真屋)がいた。明治二十六年頃、当教会初代小川半左衛門は母親のリユウマチの御守護を頂きその安中氏より匂いをかけられ道についてたお聞きしております。

初代小川氏は御守護いただいた感激に、夫婦でにいがけおたすけに励まれ、次々と講社ができ、百軒ちかくに及んだとも今は亡き古い役員さんより聞いたことがあります。そして、明治三四年、教会の

設置となり、これが当教会の元一日であります。

そのころの、千葉出張所でのお助けの逸話が語り伝えられていたのでふれておきますが、現千葉県佐倉市坂戸に三本作次郎がいた。作次郎は療癒(※2)で長く苦しんでいて、あちこちの医者に診てもらったが、「手当の方法がない。このままでは生命も危ない。」とのことであった。この時「天理さんに頼んだら救かる。」との話をきき、「それでは」

と、兄が付添い、馬に乗せられ約八里の道を千葉出張所へ出て、お助けに来ていた大教会初代から話を聞き、おさづけを願うていただきますと、坂戸への帰路、首の痲痺のできものが、かさかさにかせて、ポロポロと落ちた。家に着いた時はすっきりなおつていた。作次郎は嘘のようなあざやかな御守護と神様の自由の働きに感激し道についてた。

(大教会史 心あつめてより) 後年、成東出張所は山武郡成東村より、佐倉市坂戸の三本宅に移転となる。移転の経緯の詳細については、お聞きしておりませんが、担任(会長職)を父の久四郎が就き

作次郎は千葉出張所の布教師として専念した。その後、五反田で三業会(※3)会長をしていた私の曾祖母もんが、親戚である久四郎からこの道の話聞き自身の肺の病の御守護をいただき、五反田布教所の看板を掲げることとなる中、千葉坂戸にある教会の事情もあり、大教会二代会長よりの命で、昭和二八年二月に、現在の地に教会の神様を移転し教会を引き継ぐ事となりました。

現在私で教会として八代目とならせて頂いております。教会としての年限だけは長くまだまだその歩みは遅々としておりますが、現在の急務でもございます、人材の育成と丹精にとコツコツと進ませたいだこうと思っております。

(※1) 路傍や公園によしずを差し掛けて腰掛けを置き、通行人を相手に茶や菓子を提供する茶屋  
(※2) 「ルイレキ」頭部リンパ腺結核で当時は首切りの疔と言われた  
(※3) 料亭・待合茶屋・芸者置屋の三業種の総称